

第758回 東京定期演奏会

日本フィルハーモニー交響楽団

リープライヒ、4年半ぶりの再登場 ～ドイツ・ロマンティック王道のシューマン!

指揮:アレクサンダー・リープライヒ

Conductor: Alexander LIEBREICH

©Sammy Hart



ヴァイオリン:
辻 彩奈

Violin: TSUJI Ayana

©Makoto Kamiya

三善晃:魁響の譜

MIYOSHI Akira: Création Sonore

シマノフスキ:

ヴァイオリン協奏曲第1番 op.35

Karol SZYMANOWSKI: Concerto for Violin and Orchestra No.1, op.35

シューマン:

交響曲第3番《ライン》

変ホ長調 op.97

Robert SCHUMANN: Symphony No.3 "Rheinische" in E-flat major, op.97

サントリーホール

7:00p.m., Friday, 22nd & 2:00p.m., Saturday,
23rd March, 2024, at Suntory Hall

2024年

3月22日

19:00 開演
(18:20 開場)

18:30~
「本日の聴きどころ(プレトーク)」

3月23日

14:00 開演
(13:10 開場)

13:20~
「本日の聴きどころ(プレトーク)」

料金 (消費税込み) 好評発売中

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

*車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムースなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター

[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00~17:00)

eチケット♪[席を選んでお申込みできます] <https://eticket.japanphil.or.jp>

▶ チケットぴあ … <https://pia.jp/t/japanphil> Pコード:259-081

▶ e+【イープラス】 … <https://eplus.jp/>

▶ ローソンチケット … <https://l-tike.com> Lコード:36190

▶ サントリーホールチケットセンター … 0570-55-0017

託児サービス(事前申し込み制・有料。締切は公演の1週間前)

イベント託児@マザース [TEL] 0120-788-222

(平日10:00~17:00)

主催 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

協賛 鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社

文化庁

プレトークは
広瀬 大介氏

金曜日 18:30 ~ | 土曜日 13:20 ~

ご自身のお席で
お聴きください

今シーズンより
金曜日も!!

日本フィルの東京定期演奏会
ライブ・アーカイブ配信は
Member's TVU Channel
で行っています。1,000円



<https://members.tvuch.com/>

リープライヒによる日本・ポーランド、 そしてドイツの音楽諸相

過去2回、日本フィルの東京定期において古典／現代双方の作品で名演を繰り広げてくれたマエストロ・リープライヒ。コロナでの中断を経て、ようやく日本フィルの舞台に帰ってきてくれます。今回はライフワークであるシマノフスキ、ドイツ人指揮者としての矜持の表れとも言えるシューマン、そして日本フィルからお願いした三善晃というラインナップです。ソリストの辻彩奈はシマノフスキの演奏を長年熱望。今回スペシャリスト・リープライヒとの共演が実現しました。



アレクサンダー・リープライヒ [指揮者]

Alexander LIEBREICH

ドイツのレーゲンスブルク生まれ。ミュンヘン音楽演劇大学とザルツブルク・モーツァルテウムにて学び、クラウディオ・アバドとミハエル・ギーレン両氏の薫陶を受けた。

これまでミュンヘン室内管芸術監督兼首席指揮者、韓国のトンヨン国際音楽祭音楽監督、ポーランド国立放送響首席指揮者兼芸術監督、リヒャルト・シュトラウス音楽祭芸術監督、プラハ放送交響楽団首席指揮者兼芸術監督を歴任。ロイヤル・コンサートヘボウ管、ベルギー国立管、BBC響、BBCスコットランド響、ベルリン放送響、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響、シュトゥットガルト・フィル、ドレスデン・フィル、ルクセンブルク・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、サンクトペテルブルク響、NHK響、マラー・チェンバー管、ベルリン古楽アカデミー等へ客演を重ねている。

Accentus、ECM、ドイツ・グラモフォン、SONYへの録音はいずれも国際的に高い評価を得ている。2016年にはバイエルン州政府から文化賞特別賞を受賞。現在、スペインのバレンシア管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督。



辻彩奈 [ヴァイオリン] TSUJI Ayana

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位、併せて5つの特別賞を受賞。11歳にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。これまでに、モントリオール交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団などと共演している。2017年「岐阜県芸術文化奨励」、2018年「第28回出光音楽賞」、2023年「第24回ホテルオークラ音楽賞」を受賞。

ヴァイオリンを小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まち絵、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。2019年4月、ジョナサン・ノット指揮／スイス・ロマンド管弦楽団とジュネーブおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。2020年、自らが権代敦彦に委嘱した《Post Festum》を世界初演。コロナ禍にあって国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充すると共に、経験を深く積むことにつながった。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与のJoannes Baptista Guadagnini 1748である。

次回 第759回東京定期演奏会 サントリーホール

2024

4.12 (金)

19:00開演

4.13 (土)

14:00開演

料金(消費税込み) 好評発売中

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売
P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

プログラム

指揮: 下野 竜也



シューベルト: 交響曲第3番 二長調 D.200

ブルックナー: 交響曲第3番 二短調 WAB.103

(1877年第2稿ノヴァーク版)



指揮: 下野 竜也